

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	Three - and - twentyとtwenty threeの違い 〈特集〉
Author(s)	山本, 美代子
Citation	広大言語 , 7 : 19 - 20
Issue Date	1967-12-18
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00046267
Right	
Relation	



Any one of the boys could have told you where to find him.

You may take any one of these apples.

最後の例文は数詞であり強勢を持つている。

(B) Independent one

先行、後行の語を受けることなく、それ自身で人を表わす語である。ただし young one, little one については動物を指すことがある。

① The lark and her little ones.

He is queer one.

Listen to me, my sweet one.

No one came to the meeting, no, not a one.

② She lay like one dead.

She is the very one to make you happy.

Three-and-twenty と twenty three の違い

山 本 美 代 子

数詞について、一全く方向のわからない私はとにかく「数詞」という言葉の項を本から選び出し、書き写すことにした。そうして偶然に見つけたのが次のような既成の問題と解答である。自分でまず問題点をみつけ、それを自分でときほぐしていかなければならない所なのでしょうが、自分には自信がもてないし、又面白い問題ですので、それをそのまま紹介することにしました。

Three-and-twenty と twenty three の違い

C. O. Dには単に twenty-three 式の方が普通、P. O. Dには twenty-one (-nine) or (esp. in stating age) one(-nine)-and-twenty.と出ている。この問題を扱った参考になるものに安井 稔「英語学研究」と小川佐太郎「形容詞・副詞」があるが、大体同じ結論なので一つに要約し若干の補足を加える。

(1) three-and-twenty (もしくは three and twenty) O. E. 以来の古い言い方で(cf. ger. drei und zwanzig), twenty-three はその後フランス語の影響によつて生じたと言われている。

(cf. fr. vingt - trois)

- (2) ドイツ語式の three - and - twenty は18C頃まではよく使われたが今日の標準英語では年令を言う時に限られている。(それも大体50代までで、three - and - eighty, two - and - ninety etc.) というのは、言つて言えないことはないが、現実にはまず用いられないと見てかまわない。)その他では時刻を言う時に使われる位である。

なお時刻を言う場合について、イギリスでは It is three and twenty past (or to) two. のように three - and - twenty 式の方が普通であるかのような報告がみられたので二三の英人に確かめたところ、やはり twenty three の方が普通だとの答えであつた。

- (3) 実際に three - and - twenty 式が使われている例についてみますと、別に理由なしに使われているもの、(普通の語順とちがうことから来る)強調感によつて感情的色彩を与えるもの、twenty - three 式と対比させたもの等がある。

I was then four and twenty. Reading it with the eyes of fifty - four, I must needs laugh;

(当時私は24才であつた。今の目でそれを読みなおしてみると失笑を禁じえない。)

……(小川佐太郎「形容詞、副詞」)

- (4) 古いところでは Shakespeare は両形を共に用い、聖書には多くない。近代では、Gissing がよく使い(小川氏によると、The private papers of Henry Ryecroft では、ただ一ヶ所を除き、全部 three - and - twenty 式である由) Hardy, Galsworthy にも散見される。又米の新しい作品などではみかけられないので、米語ではたとえあるとしても極めてまれとみてよいでしょう。

[注] Maugham もこの独語式の好きな作家だと言えるだろう。しかも彼は「年令」「時刻」以外にかなり用いている。

for five - and - twenty years; four eight and forty years; for five and thirty years — Cakes and Ale / in eight and forty hours — the Closed Shop / for eight and forty hours — the Traitor / for five and twenty years — the Social Sense

Question—Box より